

ブルース・スケールについても押さえておこう

今回は、いわゆるブルース・スケールというのを押さえておきましょう。

ブルース・スケールというのが一般的な呼称なのかどうか良く分からないので、ここで言うところのブルース・スケールというのは $\sharp 4$ 度、もしくは $\flat 5$ 度の音をマイナー・ペンタトニック・スケールに追加した物という事にしておきます。

この $\sharp 4$ 度/ $\flat 5$ 度の音をブルー・ノートと呼んだり呼ばなかったり・・・結構あやふや？これも、ここではブルー・ノートと呼んでおく事とします。

この手の西洋音楽のクラシックから外れた所にある音楽用語はあいまいな事が多いようです。人によって定義が違ったり、ジャンルによって違ったりとか。

まずは音程の確認から。

	C	D	E	F	G	A	B	C	D	E	F	G	A
メジャーペンタ			R	2	3		5	6		R			
マイナーペンタ			R		m3	4	5		m7				
ブルース・スケール			R		m3	4	B	5		m7	R		

キーEの場合の音程定規になってます。ブルー・ノートは「B」と表記しました。

ブルース・スケールポジション Key E

